

2018 MAISON & OBJET・What's new? 2018.02.27 Report Asami OBA 4/9

What's new? フランスのUn Nouvel Airの創設者 François Delclaux氏によりセレクトされたWhat's New?が、ホール3とホール6で展開されました。ホール6に設置された新たなCook&share、Smart Gift、Home&Fashionゾーンでは、多くの新作アイテムが趣向を凝らしたスペースデザインを併用紹介されています。ホール3のWhat's New?では、昨年からテスト分けでの新作が展示されました。

ECLECTIC	COSY	ELEGANT	FRAGRANCES	COMPLEMENTS	ACTUEL

NEW AREA >>>

COOK&SHARE	SMART GIFT	HOME&FASHION

2018 MAISON & OBJET・傾向その1・PATTERN 2018.02.27 Report Asami OBA 5/9

引き続き自然界からのインスピレーションをパターンで表現する傾向が強い。特に鳥、動物などは2013年には登場しているため、トレンドというよりも定番と言えるのではないかと思います。今年は植物の描き方もボタニカル表現が増え、華やかなアイテムが多くなりました。その他、ランドスケープ(風景)をモダンに表現したファブリックスや壁紙が多くなっています。またパターンとは言いにくいですが、オンブレイ表現(グラデーション)は今まで以上に凝ったものが増加しています。いくつかの色相を使用したオンブレイ表現は、ファブリックスで織物やプリントでも新作が発表されています。

Bird・Tucano	Botanical	
Landscape	Animal	Onbray

2018 MAISON & OBJET・傾向その2・COLOR 2018.02.27 Report Asami OBA 6/9

■ 昨年の線を中心に紺を含め、濃いグリーン〜濃いブルーのバリエーションが広がった。空や海など自然感のあるカラーリングがベースになっている。寒色でも冷たいイメージに仕上げていないファブリックスが多い。昨年から増えたもう一つのカラーは、赤茶色系の色味。淡から濃いトーンで、今期登場しているどのカラーとも上手くコーディネート出来る。また、素材そのものの色を感じるクラフト作家の作品が増えている。ファブリックスではウール素材やリネン素材の色味を生かした新作が多い。その他、ピンクとイエローの使い方が今年らしさを演出するポイントカラーとなる。

Deep Green~Deep Blue	Reddish Brown	
Appear Unstained	Nuance Pink	Mustard Yellow

2018 MAISON & OBJET・傾向その3・QUALITY 2018.02.27 Report Asami OBA 7/9

■ 昨年に引き続きベルベットの広がりが止まらない。今年は更に手法バリエーションが増えている。注目が多く集まった素材としては竹(バンブー)素材。照明や家具で多くの展開が見られた。ファブリックスでは、カーテンにウールや獣毛系の細番手のファイン素材を使用したり、素材感が豊かなトップ染め風、紡績糸の開発が進んでいると感じる。また、ダメージやウォッシュアウト加工のアイテムは今期も増え続けている。マクラメの手法は手作り感を演出する時に、欠かせないアクセントアイテムとなっている。

Velvet Variation	Bamboo	Special Spinning
Wool & Animal hair	Damage~Wash out	Macrame